2021年度　長野県看護協会　新人看護職員研修

**2021年度　教育担当者研修**

1.コースの概要

・本研修会は、長野県新人看護職員研修事業実施要綱に基づき長野県看護協会が、長野県の補助事

　業として開催する。

・講習会のプログラムは、新人看護職員研修ガイドライン(厚生労働省)に則り、研修責任者の到達

目標の達成と、研修責任者に求められる能力を養えるよう企画した。

・受講者個々が持つ課題に基づき、各々が目標(課題)達成できるよう主体的に取り組むことで、研修

　で学んだことを実践の場面で活用する。

**教育担当者**：教育担当者は、看護部門の新人看護職員の教育方針に基づき、各部署で実施される新人看護職員研修の企画、運営を中心となって行う者であり、実地指導者への助言及び指導、また新人看護職員へ指導、評価を行う。

2.目的

教育担当者として、施設の新人看護職員の教育方針に基づき、各部署で実施される新人看護職員研修の企画・運営、実地指導者への助言及び指導、新人看護職員の指導・評価などを行う能力を修得する

3.到達目標

１．新人看護職員研修体制と教育担当者の役割について理解できる

２．新人看護職員と実地指導者の現状を理解し、教育的・精神的支援のあり方について理解する。

３．部署における新人看護職員研修の計画立案と実施・評価を理解し、実施できる。

４．コミュニケーション技術を修得し、新人教育に必要な関係調整支援ができる。

4.対象： 30名

（要件）1．認定看護管理者教育課程ファーストレベル修了者、もしくはそれと同等の知識･技術を習得している者

2.実地指導者経験者

3.チーム内でリーダー的役割や責務を認識し、教育的役割を発揮できる者

4.教育担当者

5.（原則）全日程の出席が可能な者

5.講師

1回目：鈴木康美先生（埼玉県立大学）

2回目：舟島なをみ先生（新潟県立看護大学）、松田安弘先生（群馬県立県民健康科学大学）

3回目：舟島なをみ先生（新潟県立看護大学）、松田安弘先生（群馬県立県民健康科学大学）

4回目：松田安弘先生（群馬県立県民健康科学大学）

5回目：ファシリテーションについて（平林慶史）

6.留意事項

・各回課題を持って参加し、グループワークで各施設の実践・課題を共有する。

・やむを得ず欠席の場合は、協会担当者に連絡する。

7.プログラム

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 回 | 日時・場所 | 研修項目・内容 | 講師 |
| 第1回 | 2月28日（日）10:00～16:00大ホール　　（研修責任者・教育担当者・実地指導者合同） | 1.新人看護職員研修ガイドラインの概要1)新人看護職員研修に関する考え方や政策動向2)新人看護職員研修ガイドラインの考え方2.新人看護職員臨床研修体制の構築と運営1)新人看護職員研修の運営に関わる体制作りと整備　教育体制の必要性2)研修責任者、教育担当者、実地指導者の役割と活動内容3)研修責任者・教育担当者・実地指導者の育成3.新人看護職員研修について留意すべき点1)看護基礎教育の現状と社会の動向2)新人看護職員の概要、現状、留意すべき事項3)組織理念・組織風土・人材育成、新人看護職員の社会化4.新人看護職員研修に関わる看護職員のメンタルサポート5.成人学習の特徴1)成人学習者の特徴２）成人学習者への支援 | 埼玉県立大学鈴木康美先生 |
| 第2回目 | 6月4日（金）10:30～16:30研修室　 | 新人看護職員研修（院内研修）の企画立案と運用1.施設における新人看護職員研修計画の企画立案、運用について　（グループワークを含む）1）施設における新人看護職員に求める能力の明確化2）新人看護職員研修の教育計画の立案（OJT,off-JTの役割分担を含む） | 新潟県立看護大学舟島なをみ先生群馬県立県民健康科学大学松田安弘先生 |
| 第3回目 | 6月11日（金）10:30～16:30研修室　 | 新人看護職員研修の評価方法と評価結果のフィードバック1.評価方法について1）目的別評価方法2）基準別評価方法3）評価主体、対象別評価方法2.最新の研究成果に基づく院内研修の評価　（グループワークを含む）3.自施設の教育体制・研修体制をふまえた、教育担当者や実地指導者の育成・支援について | 新潟県立看護大学舟島なをみ先生群馬県立県民健康科学大学松田安弘先生 |
| 第4回目 | 7月30日（金）研修室 | 教育研修について、自施設・部署の振り返り、課題を評価・修正し、新人研修の教育体制を見直す。 | 群馬県立県民健康科学大学松田安弘先生 |
| 第5回目 | 9月6日（月） | ファシリテーションについて | ノトコード平林　慶史 |

【事前準備・指定図書】

1.第1回目：①新人看護職員研修ガイドライン（改訂版）をダウンロードし、当日持参する。事前に目を通してくる。

　　　　　　②ワークシート(2種類)を作成して持参する。自施設の現状、リフレクション用紙

2.第2回目・3回目：舟島なをみ監修、院内教育プログラムの立案・実施・評価(第2版)、医学書院、2015

◎事前に目を通しておいてください。

3.第4回目：自部署の取り組み、課題についてまとめ、発表、共有できるようにする。